

なにかかんすけ 作家中勘助の詩を詠む日々と平塚の自然

2021年

会期：10月2日(土)～11月3日(水・祝)

場所：1階寄贈品コーナー



左) 中勘助と愛犬タゴ(イラスト丸島隆雄) 右上) カワラナデシコ 右下) 中勘助直筆の『しづかな流』冒頭文が刻まれた文学碑(平塚市桃浜町桃浜公園)。「しづかに時の過ぎてゆくのをみるのはしづかな流をみるやうにしづかである 中勘助」

小説『銀の匙』で知られる作家中勘助が平塚に住んでいたことをご存じでしょうか?中勘助は平塚在住時の日々を日記風随筆『しづかな流』^{ながれ}として残しています。今回の展示では、平塚時代の中勘助の文化的功績を市民に知ってもらいたいと活動している「平塚ゆかりの作家 中勘助を知る会」の全面的な協力を得て、『しづかな流』を基に中勘助の詩から当時の生活や平塚の自然を紹介します。